

広島工大同窓会会報

第 10 号

広島工業大学同窓会
広島市外五日市町三宅発行所
中原重男

—第11回定期総会報告— 同窓会奨学金制度実施へ

同窓会の将来

活動及び組織はいかに

本年の総会は、10周年を過ぎ、過去における総会への会員の参加が非常に少なく、さびしい総会であったことの反省から、今までの総会場場と雰囲気を一転させ、広島市内舟入町の「月世界」で開催された。

そして、会場をそのような場所にした都合上、今回初めて整理券（懇親会用）方式で会員の参加を呼びかけた。そのような方式もしくは会場がよかったのか、過去になく盛大な総会をもつにいった。（出席会員—約 250名）

今回の総会は、昨年第10回記念総会において、同窓会奨学金制度が発足していたものを具体的に実施する規約審議及び10周年記念誌等の総括を主とする総会となった。

総会は、会次第ののっとり、会長挨拶、顧問挨拶、議長選出、50年度活動報告、50年度会計報告、会計監査報告、会計細則改正案審議、51年度活動方針、51年度予算案、奨学金細則案審議、51年度役員選出の順で審議が行なわれた。

会長挨拶の中で、中原会長は、同窓会創立11回目の総会をこのような場所を会場とし、今までになく会員の出席が多いことに喜びを表明され、このような盛大な総会が今後も続き又より盛大になることを期待するとともに、会員がお互いに助け合う結びつきの必要性を強調された。

そのような会員の結びつきを強める意味において、会の組織等で地域的なブロックを考えていると表明された。

会長が表明されたように、現在、役員会等においても、会の活動事項の見直し、組織の見直しが重要視されており51年度活動方針において、それらの事項が決議されたもの

である。

会員諸氏も、活動内容・会の組織等では意見がありましたら、同窓会事務局までにお知らせ下さい。

審議事項の主なもの

◎昭和50年度活動報告

1. 同窓会奨学金基金募集

1. 同窓会会報第10号発行 昭和50年6月

1. 自治会活動における賛助活動として、体育祭・大学祭・全国大会出場遠征などに援助金を支給

1. 会員名簿発行（2号） 昭和51年3月

1. 同窓会会誌（記念誌）発行 昭和51年3月

続いて会計報告・会計監査報告の審議が行なわれ、承認された。会計細則が次のように改正され承認された。

（一）援助金規程

第2条（原文）

自治会主催の大学祭に援助金を支給するものとする。

但し、支給額については、年度予算範囲内において役員会で決定する。

（改正案）

在学生主催の大学祭および体育祭等に援助金を支給するものとする。但し、支給額については、年度予算範囲内において役員会で決定する。

◎昭和51年度活動方針

1. 第11号会報の発行

1. 第11号会誌の発行

1. 在学生への援助

1. 支部結成の奨励

1. 同窓会奨学生制度実施

1. 活動及び組織の見直し

◎奨学金制度の審議

広島工業大学同窓会奨学金給付規定

第1条 総則

広島工業大学同窓会会則第一章第4条にもとづき、この規定を定める。

第1項 奨学生の資格

本会の奨学生となるものは広島工業大学に在学し、学資の支弁が困難と認められるものでなければならない。



第2項 奨学金の給与期間および金額

奨学金を給与できる最長期間は正規の最短修業年限の範囲内とする。但し、奨学生については1年毎に新規出願者と併わせ審議のうえ、継続給付の可否を決定する。

この期間中に給与する奨学金の額は次のとおりとする。

年額36,000円

第2条 奨学生の採用と奨学金の交付(略)

第3条 補 則(略)

この規定は昭和51年4月29日から実施する。

以上のような審議事項並びに予算案、役員案等が全員一致で承認され、総会を閉会した。

その後、懇親会が盛大に開かれ、諸先生方を囲み、話はずみ、20時、パンザイ三唱し散会した。

昭和51年度役員

会 長：中原重男(子)

副 会 長：森本房義(氣)、山下和彦(土)

幹 事 長：中西助次(機)

副幹事長：松江孝博(機)

会 計：西田弘展(経)、沖根光夫(氣)、重広孝則(子)

会計監査：砂原照雄(機)、藤内寿郎(経)

書 記：近宗貴(経)、中田進一(土)

幹 事：電子一村田弘志、砂田謙二、川畑敬志、玉野和保

電気一湯尻照、猪上憲治、原田義治

機械一片山剛之丞、小西正明、森滝美治郎

土木一伊藤秀敏、福原輝幸

建築一菅原辰幸、上之博文、山本春行

経営一河井久、松広吉、西野達夫、福永保

広重隆

評 議 員：電子一大武賢治、浜尾博、遠道敏則

電気一可知英樹、兼定吉輝、白根清三

機械一田村憲一郎、木村一彦、玉田康莊

沖和郎、藤川正博、杉島民雄

土木一大政求、橋本千代司、山岡繁行

建築一青木能典、秋本孝、有田三郎

知野吉春

経営一峠孝司、川口典、倉本敏行

昭和50年度会計報告

(S50. 4. 1~S51. 3. 31)

項 目	収 入	支 出	残 高
昭和49年度繰越金	27,653,613		
準 会 員 入 会 金 99 名	990,000		
総 会 々 費	107,000		
終 身 会 費 (734名+1名)	5,878,000		
預 金 利 息	1,395,107		
広 告 収 入	525,000		
50年度総支出		7,359,403	
合 計	36,548,720	7,359,403	29,189,317
			(昭和50年度繰越金)

預金利息 1,395,107円 (定期預金利息 1,301,399円
普通預金利息 93,708円)

昭和50年度繰越金高 = 29,189,317円
内訳 { 定期預金 26,500,000円
普通預金 2,683,720円
現 金 5,597円

項 目	予 算	補正予算	支 出	残 高
名 簿 発 行 費	1,770,000		1,770,000	0
会 誌 発 行 費	2,134,000	720,000	2,854,000	0
会 報 発 行 費	331,000		204,360	126,640
総 会 開 催 費	610,000		521,420	88,580
自 治 会 援 助 費	650,000		507,000	143,000
卒業生記念品代	500,000		425,000	75,000
通 信 費	30,000	25,000	55,000	0
消 耗 品 費	150,000	100,000	213,080	36,920
交 通 費	50,000		35,230	14,770
会 議 費	84,000	5,730	89,730	0
役 員 手 当	93,000		79,000	14,000
支 部 援 助 費	50,000		30,000	20,000
調 査 費	50,000		0	50,000
備 品 費	40,000		0	40,000
委 託 費	300,000	156,000	425,201	30,799
予 備 費	200,000		150,382	49,618
合 計	7,042,000	1,006,730	7,359,403	689,327

昭和51年度予算

収入の部

項 目	金 額
準 会 員 入 会 金 (970名×1,000)	970,000
終 身 会 費 (750名×8,000)	6,000,000
預 金 利 息 (定期 1,300,000 普通 100,000)	1,400,000
小 計	8,370,000
前年度よりの繰越	29,189,317
合 計	37,559,317

支出の部

項 目	予算額	項 目	予算額
会誌発行費	1,655,000	卒業記念品代	500,000
1. 印刷費	790,000	通 信 費	100,000
2. 郵送費 (100円×7,900)	855,000	消 耗 品 費	100,000
3. 交通費	10,000	交 通 費	50,000
会報発行費	485,000	会 議 費 (会場10回×5,000 飲食10回×20円×600)	170,000
1. 印刷費	190,000	役 員 手 当	122,000
2. 郵送費 (20円×9,500)	285,000	1. 会 計 3 人	15,000
3. 交通費	10,000	2. 会誌発行責任者	5,000
総会開催費	1,430,000	3. 会報発行責任者	2,000
1. 懇親会 (4,000円×350)	1,430,000	4. その他(役員会日当)	100,000
2. 交通費	10,000	支 部 費	100,000
3. 諸 費	20,000	調 査 費	100,000
在学生奨助費	650,000	備 品 費	50,000
1. 大学系 (30,000×4+50,000×2+60,000)	280,000	委 託 費	300,000
2. 体育祭	170,000	予 備 費	200,000
3. 遠征費	200,000	奨学基金繰込み金	343,000
		贈 奨 学 会 寄 付 金	100,000
		合 計	6,455,000

同窓生の皆さんへ

学校法人局 熊谷 啓

広島工業大学同窓会満10周年おめでとうございます。同窓会10周年記念誌を通して、本大学の歩みと共に同窓生の皆さんが日本や世界の各地で活躍しておられる姿をたのしく思い、拝読させていただきました。

本大学の母体である鶴学園は同窓会満10周年より丁度10年早く、昭和31年2月23日広島高等電波学校の設置認可日をもって創立記念日としておりますので、今年満20周年を迎えたのであります。このことは、当然これから同窓会の20周年、30周年は、学園の30周年、40周年となるのであり、ともに発展していくべき因縁ともいえる深い結びつきをもっているといえるのです。

一般に創立当初は施設設備が不十分であるにもかかわらず、少人数ということもあって人間関係がよく、家庭的雰囲気であったと懐古されるのが常ですが、本学では建学の精神「教育は愛なり」に基づいて常に人の和と愛を基調として発展しているのであって、どんなに大きな家族、またどんなに遠くはなれていても、その発展と共に結びつきを強め、その輪を上げていく特色をもっているのです。さらに教育方針「常に神と共に歩み社会に奉仕する」によって、この大家族は同じ精神と指針をもって、よりいっそう深く結びついているのであります。

この建学精神並びに教育方針によって私学としての特色を発揮するところに学園の存在意義があり、その発揮には同窓生の皆さんに負うところが大きいのであります。それは、鶴舎総長先生が「同窓会の存在意義は本学園の建学精神と教育方針を同窓生を通じて社会に浸透させることにある」との同窓会幹部の方々の言葉を聞いて、感涙にむせんだといわれている（同窓会10周年記念誌）とおりであります。

学園の大家族（構成員）は在学生・生徒、現教職員はもとより、同窓生、旧教職員、その全ての父兄によって成り立っており、この大家族は同じ精神で脈打っている一つの体と考えられるのであります。同じ体の中で、手が痛んでいるのに頭や足はしらないと無関係をよそうことができないように、同窓生の名譽は学園大家族の名譽であり、同窓会の苦しみは学園全体の協力によってやわらげられなければならないのです。その意味で、このたび、中原重男同窓会会長が学園評議員に就任され、学園全体の重要な諸問題を検討し、意見をのべる評議員会のメンバーになられたことは大きな意義のあることです。また学園内に同窓生の方が教職員として年々増えており、同窓生と学園との結びつきはますます強くなっておりますが、大多數の学園外の同窓生の皆さんが個人個人その地域社会の中で、同窓生同志の結びつきを密にし、さらに学園のため、母校のため何か役立つこととはないか、小さいことから協力の意識がもたらがっていくことが最も力強いものであると思います。協力の具体的方法は種々ありますが、先ず学園の日々の活動をよく知っていただくため、仕事のあいまや、出張の機会に本学を訪ねてくださることが第一だと思います。また各自の職場における情報提供も在学生にとって、就職等にあって貴重なものであります。鶴学園新聞や広島工大新聞に同窓生の立場からのご意見を寄稿していただくことも、身近なところにも交流をはかる方法があるのではないのでしょうか。

学園が満20才、同窓会が満10才を迎えて、これから協力一致して大きく成長し、飛躍することを期待するとともに、同窓生皆さんの各職場でのご活躍とご健康をお祈りいたします。

大学だより

電子工学科

雅 感 永 見 均

先日、新聞の「オフィス情報」という欄にコンピュータと夢という題で次のような記事が載っていました。

人間の脳、神経、感覚器官は精巧な情報処理システムと考へられます。豊富な脳細胞とシナプス結合を備えており、また目や耳などの感覚器官が意外に多量のデータを受け取っている。が、意識の世界で考えたり、話したり、判断するとなると格段に遅くなってしまいます。しかし、脳が遊んでいるわけではなく、無意識の領域では超高速コンピュータも及びもつかないような情報処理を行っており、さまざまな加工された後、エッセンスだけが意識に上ってくるのです。一方、コンピュータの方は、記憶容量は若干人間に劣るが、計算にかけては一秒間に10億回もやってくるほどで人間など足元にも及びません。しかも、計算と記憶ではどんなに大量の数字でも一桁の誤りもなく実行し、人間のようなうる覚えや計算ミスがありません。

しかし、人間並みの思考能力を持った賢いコンピュータが現われるのは、まだまだ遠い将来のようです。まして、人間の創造的能力の現われである夢を見るコンピュータなどいつのことか。それまでは、退屈な計算や数字の羅列はコンピュータにまかせ、我々は人間の特長である夢を見て大いにコンピュータをうらやましてやります。(以上) これを読んで、コンピュータの発達により情報が溢れ、夢が壊されていることから、将来にはもはや夢と呼べる人間の特長は消失してしまう皮肉な運命にあることは十分に考えられることだと思いました。

電気工学科

昭和51年度の主な卒業研究テーマと担当者は以下のようであるが、卒業生に関連している事があれば話を持っていきますので出向して下さい。

- 岡沢 哲夫 1. 送電に関する研究
- 2. 配電に関する研究
- 木村 三郎 1. 模擬送電
- 2. 配電に関する研究
- 川本 文三 1. 電食の研究
- 2. 半導体(金属間化合物)に関する研究
- 榊 茂忠 1. 特殊可変速度同期電動機の特性和等価回路
- 2. 植物の電気的特性とその応用
- 永井 康雄 1. ラーホログラフィーの研究
- 2. レーザー変調器の研究
- 依田 佳矩 1. 長ギャップにおけるインパルス放電
- 2. 衝撃電流の測定法について
- 猪上 憲治 1. ソリッドロータ形誘導電動機の特性的解析
- 2. 特殊同期電動機の特性的解析
- 沖根 光夫 1. 環状ジャイロスタットについて
- 2. 能動RC回路網について
- 米沢 良治 1. テレメータに関する研究
- 2. 生体の動特性推定について
- 原田 義治 1. サイリスタ・インバータの研究
- 湯尻 照 1. モデリング効果を利用した室内照明設計

2. 住宅照明の実態とその問題について

機械工学科

「紅一点」

河内山 牧子

「機械科のくれない点」これは、今年退職された先生の口癖でした。

「紅一点」そう、彼女のことなのです。

昨年機械科に初の子学生を迎えて早や2年、月日のたつのは早いものでね。その後の彼女の学生生活ぶりを、お知らせしましょう。

1年の時は一般授業で、まあ取り立てて言う程ではない。体育も男子生徒と同様、いっしょになってボールを追いかけていました。

2年生になって「工作実習」これが曲者なので、私としても彼女にこなせるかどうか、少々不安を抱いていました。ところが、ブリキ板できれいに半田つけて箱を作ってきたではありませんか。りっぱ、りっぱ、やれば不可能なことではない。

次ぎは鍛造。重いハンマーを振り上げては「カーンカン」「腰が痛くなったよ」と言いながら、コークスが散って黒くなった顔を洗っていました。

体育祭でもクラスの応援に大活躍。来年は試合をする方にまわるとか。とにかく、元気ハツラツの彼女。これからも大いに勉学に、はげんでほしいと思います。

土木工学科

すばらしく将来性のある

広島工業大学への新任ご挨拶

二 神 種 弘

このたびは、学風と自然環境の共にすばらしい(おそろく日本一すばらしい)広島工業大学に天職を授けて頂きまして誠に有難うございました。

おかげさまで、日々楽しく感謝の学園生活を送らせて頂いております。

過日(4月29日)、月世界にてありました広島工業大学同窓会10周年記念総会に出席させて頂き、同窓会の方々の力強いご活躍に接させて頂き、深く感激致しました。同窓会の方々の母校に対するまごころあふる熱気のうちに、荘重なる広島工業大学歌を聞かせて頂きました時は、このすばらしく将来性のある広島工業大学の一員に加わらせて頂くことになりました幸福感と責任感で胸一杯になりました。

「教育は愛なり」の建学精神と「常に神と共に社会に奉仕する人物の育成」の教育方針のもとに着実に発展している大学、裏口入学をさせない大学、なんと広島工業大学はすばらしい大学なんですよ。

今後は、同窓会10周年記念総会における感激をいつまでも持ち続け、微力ながら新たな決意をもって、広島工業大学を通じて私学教育に専心努力致している所存ですので、何卒宜しくお願い申し上げます。

建築学科

丹羽博幸

今年も、沼田にある工大山荘にて1泊2日の新入生オリエンテーション・セミナーが実施された。恒例のファイアー・ストームでは、青春の血を燃え立たせ、新たな人生の出発をしたことと思う。

建築学科では、今回はじめて卒業生4名が参加して、社会の荒波にもまれ、そのなかで培った貴重な体験を披露していただいた。その先輩の体験談は、新入生諸君にとっては、何物にも代えがたい教訓になったことであろう。

多くの卒業生は、社会に巣立って、見習いの時期を過ぎ、職場の中堅クラスに入っている。今回の代表4名の卒業生の体験のように、先輩に語られ、その体験談によって、先輩が熱心する。その輪が、万波となって広島工業大学の社会的地位が、より強固なものになっていくことだろう。

今年も、多くの先輩達が巣立っていきませんが、昨年に引き続き、就職難ということを感じなければならない状態です。かような時にこそ、教職員は無難のこと、卒業生、在学生も自覚をもち、輝かしい歴史に、さらに輝きを増すように、共に歩んで行かなければならないと考えるものである。

ともあれ、ファイアー・ストームの炎の様に、初心を忘れないで、燃えたとげらせていきたいものである。

経営工学科

不況期の中で研究室から願うこと

中村佳正

不況時代を生き抜かれている皆さんお元気ですか。

今年の4月、造船関係の下請企業に入社している卒業生が、大学を訪れて、「先生、私共は一人一人、工場長に呼ばれて、造船関係の仕事がたい、このまま会社にもいなくても良くなるから退職して貰えないかと言われました。」と悲しい表情で話しました。働く意欲を持った社会人が、その欲望を満たせない苦痛程大きなものは、特に、男にとって、無いのではなからうか。

4、5年前の好況期、仕事はいくらでもあり、学生は簡単なアルバイトで、簡単に金を稼いでいました。そうした経験をしている卒業生ですから、特に、冷たい社会の風が身にしみるのではないのでしょうか。

日本の経済は今後もっと体質改善を行なう必要があると思います。それに伴い、技術者である皆さんには、より高度な技術の要請が行われてくるものと思います。故地学の鈴木先生が Good Engineer, Good Citizen といわれていました。社会の実地で鍛え抜いた君達の技術は、これからの日本の経済を量的かつ質的に高度化するために貢献し、良き社会への礎になるものと思います。自分の仕事、その技

術を徹底的に鍛え抜いて、自信を持ち、哲学、価値観に支えられた技術者として、社会の荒く、冷たい波風に飲みこまれない、ゴツイ人間に育てて貰いたい。足下の地面のみを見つめ、とらわれるだけでなく、遠く、果てしない空を眺めよう。永遠の時間と空間について、自由な精神で、語り合おうと思えば、大学の研究室に来て話し合います。

人事関係

■新任教職員(昭和51年4月1日付)■

特任助教授(一般教育) ロバート・ウインター・マクウィリアムス

嘱託講師()	高中 紘一郎
講師(電子工学科)	永見 均
"(土木工学科)	二神 雅弘
助手(経営工学科)	西野 達夫
臨時助手(建築学科)	山本 春行
特例技術員(機械工学科)	森原 一実
"()	森下 春夫
事務員(事務局事務部)	福永 保
	(所属発表は51.4.6付)
"()	河内 紀子
"()	高井 貴志子
"()	"

(昭和51年4月2日付)

特例教授(一般教育) 古浦 一郎

■退職者(昭和51年3月31日付)■

法人局調査役(元広島工業大学事務局長)

嘱託教授(一般教授)	沖野 哲雄
(51.4.1付で、特任教授に就任)	川地 理策
嘱託教授(機械工学科)	山本 博
(51.4.1付で、特任教授に就任)	松田 和夫
嘱託教授(機械工学科)	堀田 秀次
(51.4.1付で、特任教授に就任)	河内 清彦
嘱託教授(土木工学科)	中井 利三郎
(51.4.1付で、特任教授に就任)	岡本 貞
嘱託講師(建築学科)	近松 一雄
臨時助手()	吉田 猛雄
"(経営工学科)	柴田 勇
嘱託技術員(機械工学科)	西田 初人
嘱託事務員(事務局次長)	福澤 宗春
嘱託事務員(事務局庶務課)	宮重 勇蔵
"(事務局助成管理課)	田中 十一
"()	"
"()	"

計
報

高杉一郎先生

広島工業大学教授 高杉一郎先生(元機械工学科教授)はかねてご加療中のところ昭和51年3月23日薬石の効なく逝去されました。謹んでご冥福をお祈りします。



桜井 季男 先生

広島工業大学名誉教授 桜井季男先生(元土木工学科教授)は神戸大学附属病院に入院加療中のところ昭和51年4月23日午後2時薬石の効なく心不全のため逝去されました。謹んでご冥福をお祈りします。

会 員 だ よ り

機械工学科卒 (大日本印刷勤務)

山 崎 秀 晃

同窓生の皆様、お元気でお暮らしのことと思います。小学生も、卒業して6年過ぎ社会人として、一人前になろうと努力しています。同窓会報の寄稿に際し何を寄せて良いか、いろいろ迷いましたが、私の6年間歩んできた仕事の内容をお話ししたらと思ひ筆を取らせてもらいました。

私は、45年機械科卒業と同時に、大日本印刷に入社しました。研修後、大阪工場に配属となり印刷現場に3年間印刷技術を修得すべく励みました。その後、同工場にて約2年間管理部門にて営業部と工場とのパイプ役として努力しました。

話は前後しましたが、私の会社には、京都に工大卒の先輩1名と東京に後輩2名頑張っています。仕事の関係上、ついつい、ご無沙汰になります。近い将来接する場を設けたいと思っています。

さて、私はその後、49年の父の死に際し家の都合上広島に帰り、今迄の5年間の工場職から営業畑へと職場転換を計りました。

今では、電算機に必要なビジネスフォーム部門の営業に努力しています。私の主なテリトリーとしては、広島市内の会社の電算室を訪問し受注活動をしています。その際、工大卒の人と接することがありますが、その時張りつめた気分のビジネスを離れた安堵感を味わうことが有ります。特に例NMIは電算室の殆どの方が工大卒とあって訪問するのが楽しく、又、先方より弊社を良くして頂いている会社です。又、私の会社の協力工場にも私の1年後輩のT君が頑張ってくれており、接する機会も多く、学生時代の思い出話に花を咲かせています。

私の仕事柄、将来に同窓生の方にお世話になることが有ると思われませんが、その節は宜敷くお願いします。

以上とりとめもなく筆をとりましたが、私の歩んできた会社での内容をお話ししました。今後工大の卒業生としてりっぱな社会人となる様、毎日頑張っています。

皆様もこの厳しい景気の中、挫ける事のないよう頑張ってください。

又、街で会うことが有りましたら工大同窓生お互いに声をかけあいましょう。

私の現況に際して思う

電気工学科 昭和51年卒業

渡 辺 弘 昭

卒業—生活環境の急変と共に、3ヵ月、社会階級のまった中にある中小企業であるが、入社当時、いろいろ考えた。自分の立場は、自分の今なすべきことは何なのか。その客として生きてきたのが、次のことである。

勉強はもちろん、しなければならぬが、何から手をつけたらいいかわからない。まず、この環境になれる事、それにはなにをすればいいのか、大学への入学当初を考え

た。たくさんの人の中にならうとした時、何を求めるか、私は、友達であった。その方法として、相手の名前を覚えた。そして何でもいかに話してみることに決めた。

相手の名前を、覚えることは、自分の名前も覚えらる。本人にとって、名前というものは、個々の財産であり、最も快い、最も大切なひびきをもつものである。

だから、私は、名前を覚えることから始めた。重要な人物であればあるほど、苦心して早く覚えた。メモをしてでも精神集中して頭にたたきこむ。覚えたらつかう、そうすると、少なからずあいそよい返事が返ってくる。自分の存在が認められ、名前も早く覚えらる。

私は、今、これで成功している、わずか3ヵ月間であるのに、1年以上もこの環境にいる気がする。

大学4年間はむだでなかった。たくさんの人に触れていたことはよかった、まだまだ、たくさん応用できるものがある。

ひ と り ご と

電 子 昭和49年卒

浜 尾 博

暦の上ではもう夏だということに毎日雨です。私は今九州のあるホテルの一室にくすぶっています。一人で出張になると雨のためか、感傷的になりそうです。宮崎の仕事も終り、明日は小倉です。ここ日豊本線は単線のため、移動に時間を要し、肉体的にも精神的にも乗っただけで疲れます。ホテルに着くとなるべく早く、量の多い夕食をすませ、風呂に入るとほっとします。

それにつけても、九州は新婚の若いカップルが多いのに驚くやらでてるやら、1人で出張してる男がてれもさまじいかもしれませんが、独身の私には刺激が強く、仕事で来ている自分がみじめに見えたりします。自分も早く結婚したい……ノと思うのはこんな時です。こうなると見る人すべてが新婚に見える、自分に何故春がこないのか……と悩んだり、でも自由に何でも出来る独身もいいじゃないかとなだめたり……ノ

外はまたふりつづいています。窓から下を見れば、バスから4～5人の客が雨に首を縮めて降りています。少しこぶりになったかな。

今日、カーブは試合があったのかな、消二はいい所でダブルプレーになるケースが多いし、下はケガで欠場、水谷は守備がまずい……でもホームランをたまに打つからな……ノ

こんな気持、わかるかな、わかんなえだろうなア……。

経営工学科 昭和51年卒業

福 永 保

原稿を書きようにと頼まれ、何を書こうかと整理のつかぬ頭で、ペンを走らしている。子供のころから、人から頼まれることわりきれず、気軽に返事をしてしまう性格が、今なお直らないでいる。その時は別に何でもないと

うのだが、期限が近づくと気分が重くなる。こんな自分にいやがさすのだが、いまだということがどうもできない。

今回は、何かおもしろい事を書いてくれと言われたのだが、作文がにがてな僕に、そんなおもしろい事が書けるわけがない。

話は変わるが、社会へ出て3ヵ月が過ぎようとしているこの時期に、感じた事を2、3書いてみる。

第1に学生時代は、素晴らしいという事。僕もクラブ活動をしていて、先輩と話す機会が多いのだが、そのときまで口に出る言葉に、『君らは人生において一番自由な時であろう大学生活を悔いる事なく過ぎなよ。』と。

次に人の和ということの尊さをしみじみと感じる。このことに関しては、現在自分のいる環境に満足している、と同時に感謝している。

そして最後に僕が一番感じていることに、いつまでも素朴でありたいということ。美しい物を見た時、心の底からあー美しいと言える心の眼をいつまでも持ち続けたいと思っている。

入社3ヶ月目

建築学科昭和51年卒 (興ヒロタニ勤務)

向井秀昭

私は、現在興ヒロタニに勤務しております。まず我社について簡単に紹介しておきます。ベニヤ板、新建材の販売を行なう『広谷商店』として、昭和26年に発足しました。そして、昭和33年に法人化、昭和48年に株式会社ヒロタニに社名変更し現在に至っております。資本金3,000万、従業員数350名の中小企業です。

4月1日に入社し、2週間の社員研修も終わり、私は八木松工場内にある研究室に配属されたのです。工場は八木松駅より西に1kmの所にあり、青々とした田園の中にボツリと工場建屋が軒を並べている、そんな閑静な環境にあります。研究室のスタッフは新入社員6名を加え18名で、課長を除き皆20代の若者ばかりです。

研究室は我社の車の内装材の研究と音の研究とに分かれ、私は音の担当になったのです。入社して1ヶ月は毎日デスクに座り本ばかり読んでいて、またたく間に過ぎたある日、防音壁の開発を命じられ工場内に設置する事が決められたのです。入社1ヶ月そこそこにしては、大変な仕事を与えられたものだと思わずにはいられませんでした。『防音壁とは一体どんなものか』と他社のパンフレットを取り寄せたり、実際に取り付けてある防音壁を調査しに行ったり、大学にも聞きに行ったものです。そんな事を繰り返して、何とか6月中旬にやっと完成したのです。でも強風が吹き荒れる度、外に出ては倒れていないかと見に行くのです。そして『倒れていない』と喜んでるのが、私の今日この頃です。

“就職して”

土木工学科卒

野間宏紀

後援先に立たず、今振り返る学生生活は、楽しい事ばかり

り頭に浮かび、学生という特権の上に苦勞を嫌いな素で走り、なるべく簡単に全てを中途半端に過ごしてきた自分が……。

しかし、何につけても勉強は大事です。机に向かい本を読むことも、自分で種々な事を体験する事も、人と接し自分を見つめ直す事も、色々ありますが、私が入社時、上の人から聞かされた事は、学生時代は4年間、社会に出ると一生その仕事に従事してゆかなければならない。学生時代にたとえ専門分野をやったからといって、それをやらねばならない事は無いはずだ。という事である。事実、実際に仕事をしていると、思いもよらないで、他方面の分野にも口を突っ込まなければならなくなります。そのような時に私はそんな事は知りませんか、やりたくないと言って逃げた事はできません。何でもやりこなす力を備えて置く必要が有ります。専門は専門で習得する必要は有りますが、固執の観念に捕われる事なしに、自分自身の見聞を広める意味での勉強も、必要ではないかと思えます。後輩諸君、遊びも勉強の一つで有るという事を忘れたい様に……。

就職して2年余で種々な出来事が有りましたが、今の私は自分自身に忠実に、あせらず、飾る事無しに一步一步前進してゆこうと思っています。変に先走りして、自分の力を過信しすぎ、みじめになるよりか、また、『朱に染まれば赤くなる』という諺が有りますが、朱に交わり増々自分の色が出せる様な人間になりたいと思います。

建築学科同窓生の組織

「五三会」について

我が建築学科の卒業生は、昭和48年に「五三会」という組織を結成いたしました。本年度も5月29日に、広島市内の日生ビルにおいて、第3回目の総会を開催いたしました。同窓生80名弱の会員が出席いたしました。

本年度の活動といたしましては、◎五三会主催の設計競技◎大学祭の科展において卒業生祭を行なう。◎在学生と卒業生との座談会を催す。◎建設現場等への見学及び研修を行なう、等であります。

なぜ、建築学科卒業生が、このような組織を結成したかと申しますと、広島工業大学同窓会の組織拡大と共に、どうしても総花的になるであろう活動や情報の提供を少しでも、より具体的なものとしようと考えたからであります。

広島工大同窓会の会員の皆様はどう考えられるでしょうか。大きな組織で「あなたの存在は？」。もう少し具体的な活動を欲する会員もいられるでしょう。又、「あなたは、広島工大の卒業生であると自覚し、確認できておりますか？」、一人ではむづかしいと思います。そこでどうしてもグループとかが必要となってきたのです。そういう意味で少しでも自分達の近くにある組織を必要とした訳です。少しでも現実的な活動を行なう意味で具体的な組織となる程、存在価値もあるものです。そしてその具体的、現実的な集まりがもっとと価値のある組織を形成することでしょう。

建築学科同窓生も、種々の分野でがんばろう！

他学科同窓生もがんばろう！

広島工大同窓会も広島工大も発展するであろう。

文化局

体育祭

「課外活動施設の

現状と、今後の提案」

文化局長 横田 博之

■課外活動施設の現状

課外活動が個人に与える人間形成上の意義が大ききことは言うまでもないので、ここでは課外活動を行なうために特に著しい支障となっている施設に関して述べたいと思います。

課外活動の施設としては学生会館、文化系サークル共用施設、体育施設、屋外運動場、合宿研修施設等があると思います。我工大の場合を見てみると、体育施設として体育館、武道館、屋外運動場として、ラグビー場、野球場等があり、学外に於いては弓道場があり、宮島口にヨットハーバーも建設予定されているそうですが、学生会館、文化系サークル共用施設、合宿研修施設等、全く無いとは言えませんが、ほとんど無い状態です。このために特に著しい支障を来しているのは、文化系サークルの場合です。文化系サークルの場合、活動するのは部室内です。ここが体育系サークルとの違いだと思います。体育系サークルの場合部室はユニホームの更衣室であれば良いサークルがほとんどだと思いますが、文化系サークルの場合、部室は体育系サークルの野球場、ラグビー場であり、又、武道館、体育館と同じです。例えば美術部の場合、40名ほど部員がいますが、部室で油絵を描ける人数はせいぜい5名程度で、その他、デザインや石膏デッサン等行なうとしたら、現在の広さの4～5倍は必要だと思います。落語研究会の場合を見て、4畳半の広さの部室で20名ほどの部員が練習できるはずがありません。体育系サークルの更衣室程度の部室で練習しているのですから無理もありません。音楽サークルを見ても、部室の広さはある程度確保されていますが、部室と部室との防音がほとんど施されていないため、他のサークルの音によって、楽器が決壊し練習困難になっています。

体育施設に関しては、現在工大の持つ施設は広島でも1、2位を争うものと思いますが、文化施設（学生会館、文化系サークル共用施設等）に関しては、広島他の大学に相当遅れていると思います。学生会館は、全学生のためにも必要であり、文化系サークルの場合、音楽サークルのための音楽ホール、芸術サークル（美術、写真、書道）の展示室、講演用ホール、技術サークル（科学、無線、鉄研、基礎理論）の研究発表設備等かかせないものがあります。

■今後の提案

今後、課外活動の一層の発展と充実をはかるために、次の提案をしたいと思います。

(1)学生会館の早期設置、前に述べた我々学生の意見を十分考慮に入れてもらいたい。

(2)学内の課外活動施設が不備の場合は、学外の社会教育施設である公立の体育館、公民館、公会堂、美術館等の使用について便宜が与えられるよう考慮する。

(3)課外活動に対する積極的な予算援助。

(4)課外活動施設の部分的改善でなく、根本的な改善。

以上の提案を最後に自治会文化局の考えた所としたい。今後なお一層の御協力を切に希望し、終えたいと思います。

第15回体育祭

実行委員 三宅 到

今年の体育祭は5月22～25日の4日間行なわれました。

テーマは体育会設立を考慮して「アタック」*として参加記念のペナントのデザインを一般募集しました。我々実行委員は何か例年と違う、体育会主催の体育祭第1回にしようと、いろいろ考えた結果、今回から競技種目に相撲を加えることにしました。今年の体育祭は全日程面雨にたたれたにもかかわらず多くの学生、教職員、五日市市民の参加があり、4日間工大は興奮に包まれました。

体育祭は次の日程で行なわれました。

5月22日(土)	9:00	開会式
	10:50	騎馬戦
	12:00	競技開始
5月23日(日)	9:00	競技開始
	10:30	運動会
5月24日(月)	13:00	競技開始
5月25日(火)	13:00	競技開始
	16:30	閉会式

開会式は例年になく盛上がり、一般学生の体育会員であるという自覚ができていたように思われました。騎馬戦は1、2年生主体で行なわれ、大した負傷者も出ず無事行なわれました。形式は大将戦でいくらか騎馬が疲れても大将がいなければ負けという、大学生らしい作戦を必要とするものです。終了後各競技を行なった訳ですが、種目はバスケット(体育館)、バレー(バレーコート)、ソフト(野球場)、テニス(テニスコート)、相撲(武道館)、卓球(武道館)、サッカー(ラグビー場&サブグラウンド)の7種目でした。昨年リーグ戦を行ない盛上った卓球は、今年は日程面でもどうしてもリーグ戦に出来ず、しかたなくトーナメント形式で行ないました。今年から新しく加えた相撲は、我々の情宣不足のため棄権するチームが多く不戦勝が目立ちました。

が、試合は非常に面白く来年もやってもらいたいと思っています。

23日の運動会はいにくの雨で体育館で行なわれましたが、その雨にもかかわらず学生、各女子大生、五日市市民が多く参加し、フォークダンス、ゲーム、フォークコン



サート等で楽しい1日をすごしました。最後に行なったフォークダンスは自分の踊る場所がなかったほどで、この日だけは学生、教職員、町民も童心に帰り一緒にゲームを楽しみ、笑い、体育館は一つの和に包まれました。

24日の競技はうまくいったのですが、最終日にまたしても雨が降り、テニスが遅れ、競技を行なっているのに閉会式が始まるという我々実行委員として、実に恥ずかしい事もありましたが、どうにか無事体育祭を終えることができました。

体育祭の成績は次のとおりです。

○相撲リーグ

1年生の部	優勝 建築A、	2年生の部	優勝 電子
	2位 土木	2位	経営
	3位 経営	3位	土木
3年生の部	優勝 経営	4年生の部	優勝 建築A
	2位 電子	2位	土木
	3位 電気	3位	電子

○バスケットの部

優勝	建築3A
2位	建築4B
3位	建築2B

○バレーの部

優勝	土木2
2位	機械2A
3位	建築2B

○ソフトの部

優勝	土木2
----	-----

2位	経営3
3位	機械2A

○テニスの部

優勝	経営1
2位	経営3
3位	建築4A

○サッカーの部

優勝	土木1
2位	建築4A
3位	機械1B

○卓球の部

優勝	経営3
2位	電気1
3位	機械4B

○騎馬戦

優勝	建築A・Bチーム
2位	経営・電子チーム

○クラス優勝

経営3
2位 土木2
3位 建築4A

○総合の部

優勝	経営
2位	建築A
3位	土木

最後に今回の体育祭を開催するに当たり、御尽力下さいました関係者各位に厚く御礼申し上げます。



お 詫 び

同窓会会員名簿（昭和51年3月27日発刊）の広告ページのところで、菱船設計株式会社の広告内容の一部に誤りがありましたことをこの紙面をお借りし深くお詫びさせていただき、本会報にてその訂正後の広告を掲載させていただくことをもちましてお詫びの気持ちに変えさせていただきます。

訂正内容 同窓会会員名簿広告ページ（35ページ）三菱重工全額出資を補充
 広告掲載 菱船設計株式会社

設計は創造である。

創造には目標に向かって「自らを没入する情熱」とのびのびとより高く、よりすぐれたものに「挑戦する勇気」が要求される。

技術革新の70年代に飛躍せんとしているわが社は「あなたの創造の力」に大きな期待をかけている。

主要業務 船舶、陸船用機器、鉄鋼製品、産業機械各種プラント等に関する計画、設計
 製図ならびに製作、据付

菱 船 設 計 株 式 會 社

代表取締役社長 福 井 三 郎

本 社 広島市南観音六丁目4番31号 〒733 TEL(0822)91-4573(代表)

江波分室 広島市江波沖町5番1号

三菱重工広島造船所江波工場内 TEL(0822)92-3772

観音分室 広島市観音新町4丁目6番22号

三菱重工広島造船所観音工場内 TEL(0822)91-0036

創立年月日 昭和41年7月1日

資 本 金 2,000万円（三菱重工全額出資）

只今住所録整備中です

住所録の整備をしていますので、住所変更された方、された方を御存じの方は、同窓会事務室まで御連絡下さい。

同 窓 会 奨 学 金 資 金 募 集

1. 金 額 ; 1口 1,000円

1. 送付方法 ; 郵便振替口座番号 広島5956 書留その他

1. 送付先 ; 〒738 広島県佐伯郡五日市町三宅 広島工業大学同窓会奨学資金係

◇同窓会奨学金の寄付のお礼◇

10周年記念誌の中で同窓会会長は「会員の中のつながりの弱さ、そしてその方策の一つとして、支部を基盤とした同窓会の体質改善」が上げられています。また今年度の活動方針の主なるものの一つとして検討努力しております。

そんな折、同窓会奨学金充実発展のために、毎月会員からの寄付を賜わり、役員一同の大きな希望となっております。ほんとうに心から御協力に感謝いたします。

50年2月19日から51年6月22日現在まで、寄付者：250名集計金額：379,800円

なお、御氏名は会誌でもって報告させていただきま

す。

昭和50年度卒業寄贈品報告

金 額 電子工学科 27,000円 電気工学科 30,000円

機械工学科 83,000円 経営工学科 12,500円

建築学科 56,340円 土木工学科 40,000円

合 計 248,840円

寄贈品目 書籍（各専門書）

条 件

1.（昭和50年度卒業生寄贈）の印を各図書へ押してもら

うこと。

1.書籍の購入については、広島工業大学附属図書館に一

任する。 世話人＜当番学科＞建築学科

51.3.4 世話人代表 475177 神 田 徹

475185 幸 福 喜久雄